

基本四字熟語①			基本四字熟語②			応用四字熟語①			応用四字熟語②		
1	異口同音		25	自業自得		49	惡戰苦鬪		73	四面楚歌	
2	以心伝心		26	七転八倒		50	一期一会		74	弱肉強食	
3	一日千秋		27	自由自在		51	一言半句		75	縦横無尽	
4	一網打尽		28	十人十色		52	一念發起		76	終始一貫	
5	一喜一憂		29	取捨選択		53	一望千里		77	首尾一貫	
6	一挙兩得		30	心機一転		54	一刻千金		78	順風満帆	
7	一所懸命		31	正正堂堂		55	一世一代		79	正真正銘	
8	一進一退		32	絶体絶命		56	一刀兩断		80	針小棒大	
9	一心同体		33	千差万別		57	因果応報		81	新進気鋭	
10	一心不乱		34	前代未聞		58	海千山千		82	頭寒足熱	
11	一石二鳥		35	大器晚成		59	栄枯盛衰		83	誠心誠意	
12	一朝一夕		36	大同小異		60	温故知新		84	青天白日	
13	一長一短		37	单刀直入		61	画竜点睛		85	前人未到	
14	意味深長		38	適材適所		62	危機一髪		86	千変万化	
15	右往左往		39	日進月歩		63	起承転結		87	創意工夫	
16	我田引水		40	馬耳東風		64	奇想天外		88	徹頭徹尾	
17	完全無欠		41	八方美人		65	喜怒哀楽		89	電光石火	
18	起死回生		42	半信半疑		66	牛飲馬食		90	天変地異	
19	空前絶後		43	百發百中		67	急転直下		91	半死半生	
20	公平無私		44	不言実行		68	言行一致		92	品行方正	
21	古今東西		45	不眠不休		69	三寒四温		93	文武兩道	
22	言語道断		46	無我夢中		70	自給自足		94	平身低頭	
23	自画自賛		47	有名無実		71	事實無根		95	本末転倒	
24	四苦八苦		48	油断大敵		72	質疑応答		96	孟母三遷	

基本四字熟語①

1	多くの人が、口をそろえて同じことを言うこと。
2	思っていること、考えていることが、言葉や文字で説明しなくても、相手に通じること。
3	一日が千年にも長く思えるほど、待ち遠しく思うことのとえ。
4	犯人などの一味を、一度に全員とらえること。
5	状況が変わるたびに、ある時は喜んだり、ある時は心配したりすること。
6	一つのことをして、同時に二つの利益を得ること。
7	命がけで何かをやろうとすること、本気で何かに打ちこむこと。
8	進んだり、退いたりすること。状態が良くなったり悪くなったりすること。
9	二人、または多くの人が心を一つにして、ひとりの人間のように固く結びつくこと。
10	ただ一つのことには心を集中させて、ほかのことに心をうばわれないこと。
11	一つのことをして同時に二つの利益を得ること。または、二つの目的を果たすこと。
12	ほんのわずかな時間のたとえ。
13	長所（良いところ）もあるが、同時に短所（悪いところ）もあって、完全ではないということ。
14	詩や文の表現や内容に深い意味があるようす。
15	どうしてよいかわからず、あわてふためいて、あっちに行ったりこっちに来たりすること。
16	他人のことを考えずに、自分の都合のよいように言ったり行動したりすること。
17	全く、欠点や不足のないようす。完ぺきなさま。
18	今にもつぶれたり負けたりしそうな状態を立て直して、一気に勢いを盛り返すこと。
19	後にも先にも例がなく、ほかに比べようもないほどごくまれなこと。
20	一方にかたよらず、また自分の好ききらいや損得などの感情や考えを持たないこと。
21	昔から今まで、すべてのところで、いつでもどこでも。
22	言葉に言い表せないほどにふとどきで、もつてのほかだということ。
23	自分で自分のことをほめること。
24	ひじょうに苦しむこと。さんざん苦勞すること。

基本四字熟語②

25	自分の行いの結果を自分が受けること。
26	あまりの苦しさ痛さに転げ回って苦しむこと。
27	自分の思いのままになるようす。
28	ものの考え方・好み・性質などは人によって異なるものだということ。
29	良いものと必要なものは選び、悪いものと不必要なものは捨てること。
30	あることをきっかけにして、すっかり気持ちが良い方向に変わること。
31	態度や方法が正しくて立派なようす。
32	追いつめられて、どうしようもない状態。
33	種々さまざまなちがいがあること。
34	今までに聞いたこともないようなめずらしい、または大変なできごと。
35	偉大な人物も、だんだんと実力をつけていって大成するものだということ。
36	似たり寄ったりで大差のないこと。
37	前置きをぬきにして、てっとりばやくずばりと本題に入ること。
38	人の能力や才能などを見ぬいて、それに最も適した地位や仕事に、その人をつけること。
39	日ごと月ごとに絶えず進歩すること。急速に進歩すること。
40	人の意見や批評などに全く注意をはらわず、聞き流すことのとえ。
41	だれに対してもあいそよく、上手にふるまう人のこと。
42	半分信じて半分疑う状態で、うそか本当か判断に迷うようす。
43	矢やたまがすべての的に当たること、また、予想やねらいがすべて当たること。
44	何も言わないで、だまってすべきことをきちんと行うこと。
45	眠ったり休んだりしないで、一所懸命に事に当たること。
46	ほかのことはすっかり忘れて、一つのことに熱中すること。
47	名前ばかりが立派で、それに見合うだけの実質がともなわないこと。
48	油断は失敗のもとになるから、じゅうぶんに気をつけなさいといういましめの言葉。

応用四字熟語①

49	強敵相手に苦しんで戦うこと。困難に打ち勝とうと、一心にがんばること。
50	一生に一度だけの出会い。一生に一度かぎりであること。
51	ほんのわずかな言葉。ちょっとした言葉。
52	今までの気持ちを改めて、あることを成しとげようと決意すること。
53	一目で千里も見わたせる、ひじょうに見晴らしのよいことのたとえ。
54	ひとときが千金と同じほどの値うちがあること。
55	一生に二度とない重要なこと。
56	物事を、すみやかに処理したりきっぱりと決断したりすることのたとえ。
57	善い行いから善い結果が起こり、悪い行いから悪い結果が起こるということ。
58	長い年月に多くの経験を積んで、世の中のことを知りつくして悪がしこいこと。
59	人の家、国などの勢いが盛んになったり衰えたりすること。
60	昔の物事を調べたり研究したりして、そこから新しいものの見方や知識を得ること。
61	仕上げに最も重要なところに手を加えて。絵や文章など全体を生き生きとさせること。
62	髪の毛一本ほどのちがいで、危険な状態がせまっている、きわめて危ないせとぎわ。
63	文章や話などの構成や展開、物事の順序や組み立て方のひとつ。
64	ふつうの人では思いもつかない奇ばつな考えや発想のこと。
65	喜んだり、怒ったり、悲しんだり、楽しんだりする、人間のさまざまな感情のこと。
66	牛が水を飲むように、また馬が草などを食べるように、大いに飲んだり食べたりすること。
67	急に物事のようすが変化して、解決、結末に向かうこと。
68	口で言うことと実際の行いが、全く同じであること。
69	三日ほど寒い日が続いたあとで、四日ほど暖かい日が続くということ。
70	必要なものを自分で生産して、間に合わせること。
71	事実だという理由がないこと。全く事実でないこと。
72	質問とそれに対する受け答え。

応用四字熟語②

73	周りが敵や反対者ばかりで、ひとりの味方もいないということ。
74	弱い者が強い者のえじきになること。強い者が弱い者をほろぼして栄えること。
75	自分の思うままにふるまうようすのこと。
76	初めから終わりまで、同じやり方、態度でとおすこと。
77	初めから終わりまで筋が通っていて、方針や態度が変わらないこと。
78	物事がすべて順調に進行すること。
79	全く、うそいつわりがないこと。いつわりがないことを強める言い方。
80	物事を大げさに言うさま。
81	ある分野に新しく現れたばかりで意気ごみがすごく、将来が期待されるようす。
82	頭を冷やし、足を暖めること。
83	いつわりや打算のないまごころ。また、まごころをもって物事を行うようす。
84	雲ひとつないよく晴れた天気のこと。
85	これまでにだれも到達していないこと。また、だれも成しとげていないこと。
86	局面や状況がいろいろに変わることに。
87	だれも思いつかなかったような考えを出して、それを行うための方法をあれこれと考えること。
88	初めから終わりまでということ。
89	ひじょうに短い時間のこと。また、動きがひじょうにすばやいこと。
90	天地の間に起こる自然の災害や変わったできごと。
91	ほとんど死にかかっていること。今にも死にそうなこと。
92	行いが正しくてまじめであるようす。
93	学問と武道ということ。また、学問と武道の両方に優れていること。
94	体をかがめ、頭を低く下げおそれ入ること。また、ひたすら謝るようす。
95	物事の根本的なこととつまらないことを取りちがえること。
96	子どもの教育には、環境を選ぶことが大切だという教え。